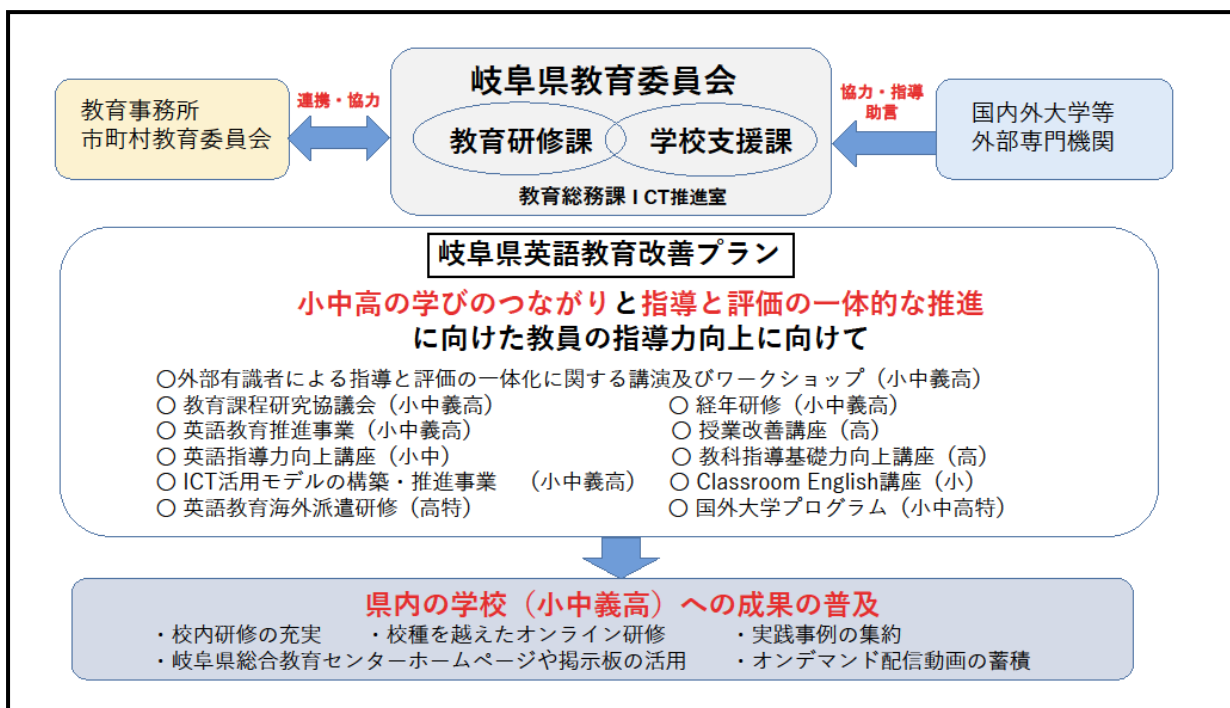


# 岐阜県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

※現状は、令和元年度英語実施状況調査の結果に基づく。

①「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握の状況）

【目標及び数値指標】

- ・別紙 目標管理書のとおり

【R1現状】

- ・高等学校 設定 100% 公表 37% 達成状況の把握 46%
- ・中学校 設定 100% 公表 45% 達成状況の把握 79%

【方 策】

- ・高等学校では、全ての学校に「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標（以下、「CAN-DOリスト形式の目標」）の公表や、達成状況の把握を継続して求める。また各種研修会や教育課程講習会、学校訪問を通して、新学習指導要領の実施に伴う学習評価の改善のための「CAN-DOリスト形式の目標」の見直し及び指導と評価の一体化に向けた有効活用を促す。
- ・中学校では、教育課程講習会、中学校英語指導力向上講座等を通して、各校で設定した学習到達目標と新学習指導要領における目標との整合性を高め、授業改善や評価改善に活用することを促す。
- ・パフォーマンステストを実施する際には、生徒に再度学習到達目標を示してから行うことを学校訪問等で各学校に周知し、達成状況を把握するとともに公表率を高められるようにする。
- ・小学校では、県教育委員会が作成した『岐阜県版「CAN-DOリスト形式の目標」』を参考に、各学校で学習到達目標が整備できるようにする。設定の意義や作成の手順、活用方法等を各種研修及び学校訪問の際に周知する。
- ・小中学校の「CAN-DOリスト形式の目標」を高等学校にも配布することで、小・中・高の接続を意識して、各高等学校が実情に応じた「CAN-DOリスト形式の目標」を設定し、有効活用する。

②生徒の授業における英語による言語活動時間の割合

## 【目標及び数値指標】

- ・別紙 目標管理書のとおり

【R1現状】・高等学校 65% ・中学校 95%

【方 策】・高等学校では、県立63校に対して外国語指導助手（ALT）53名を配置予定であり、**Team Teaching**の効果的な運用をさらに促進する。

- ・中学校に指導主事が訪問する際には、言語活動の時間が十分に確保できているかだけでなく、思考力・判断力・表現力等の育成を意図し、英語力の向上につながる言語活動になっているか、その質に関わる助言を行う。
- ・各中学校にて、目標とする言語活動時間の割合を設定し、各教育事務所で把握する。各地区の指導主事が学校訪問をした際には、その実施状況を確認する。
- ・小・中学校では、英語教育推進リーダーを講座講師として招聘し、授業でも日常生活とつながりのあるコミュニケーションの場面を工夫した実践の紹介等を行うことで、授業改善の具体を示す。
- ・小・中学校では、英語教育推進事業の推進校、教育事務所によるICT活用モデルの構築・推進事業の実践フィールド校において、指導主事が効果的な言語活動の在り方について継続的に助言してモデルを構築し、資料・授業動画等を提供することで、県内に普及する。

③「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

## 【目標及び数値指標】

- ・別紙 目標管理書のとおり

【R1現状】・高等学校

スピーキングテスト	コミュニケーション英語Ⅰ	1.0回
	コミュニケーション英語Ⅱ	0.9回
	コミュニケーション英語Ⅲ	0.2回
	英語表現Ⅰ	0.6回
	英語表現Ⅱ	0.5回
ライティングテスト	コミュニケーション英語Ⅰ	0.9回
	コミュニケーション英語Ⅱ	1.0回
	コミュニケーション英語Ⅲ	0.2回
	英語表現Ⅰ	1.1回
	英語表現Ⅱ	0.9回

- ・中学校

スピーキングテスト	3.6回
ライティングテスト	2.9回

【方 策】・高等学校では、教育課程講習会等でパフォーマンステストの意義を改めて周知するとともに、大学教授等による講習・ワークショップを通して、発信型技能の強化を意図した言語活動や生徒の意欲を高める話す力・読む力の評価方法を重点的に学ぶ講座を構築する。

- ・高等学校において、大幅に増員したALTを活用して効果的なパフォーマンステストを実施できるよう、ALTの指導力向上研修等を行い、4技能5領域を総合的に育成する。
- ・中学校では、教育課程講習会での周知に加え、中学校英語指導力向上講座において、新学習指導要領に基づいた評価について学ぶ機会を設けることで、学習到達目標を生かした授業改善や4技能を測る評価方法について理解する。
- ・小・中学校では、「岐阜県版『CAN-DOリスト形式の目標』」に示したパフォーマンステスト例を参考に、自校のパフォーマンステストを計画・実施するよう、教育課程研究協議会等で促す。また、英語教育推進事業推進校等でのパフォーマンステストの実践事例を集め、県内の学校に成果を普及させる。

- ・令和元年実施の英語教育実施状況調査において、実施回数の少ない学校を把握し、各教育事務所指導主事を中心に、目標管理書に定めた実施回数となるための助言を学校訪問等で行う。

#### ④英語担当教員の授業における英語使用状況

##### 【目標及び数値指標】

- ・別紙 目標管理書のとおり

【R1現状】・高等学校 57% ・中学校 90%

- 【方 策】・高等学校では、ALTを活用した授業等を実際のコミュニケーションの場面とし、言語活動を通して生徒の英語力向上を図る取組を紹介するなど、授業改善に向けた情報提供や助言を行う。
- ・中学校では、英語教育推進事業推進校において、教師と児童生徒のやり取りによる新しい表現の導入等について実践例を提案し、授業動画を作成してオンデマンド配信するなど、県内に広めていく。
  - ・中学校英語指導力向上講座において、英語教育推進リーダーを講座講師として招聘し、英語で授業を進める実践の紹介や模擬授業を行うことで、授業改善を促す。

#### ⑤求められる英語力（CEFR B2レベル相当以上）を有する英語担当教員の割合

##### 【目標及び数値指標】

- ・別紙 目標管理書のとおり

【R1現状】・高等学校 80% ・中学校 26%

- 【方 策】・中高教員を海外の大学に派遣し、英語力・指導力を高める研修を行い、その効果測定のために、帰国後の外部検定試験の受験を位置付ける。
- ・小・中学校各20名及び高等学校10名の英語教育推進リーダーまたは海外派遣研修参加者（過去の参加者も含む）を活用した講座型研修を計画的に実施し、指導力と併せて英語運用能力を高める。

#### ⑥求められる英語力（高等学校：CEFR A2レベル相当以上／中学校：CEFR A1レベル相当以上）を有する生徒の割合

##### 【目標及び数値指標】

- ・別紙 目標管理書のとおり

【R1現状】・高等学校 42% ・中学校 58%

- 【方 策】・高等学校では、英語力強化のために、県立高等学校の全ての生徒が、ALTとの授業を少なくとも週1回程度受講できるようにALTを増員予定である。
- ・小・中学校英語指導力向上講座において、大学教授及び文部科学省教科調査官から新学習指導要領を踏まえた授業改善の視点を学ぶ。
  - ・小・中学校では、各推進校において、「伝え合う力」の育成につながる指導の在り方を、県教育委員会と共同で研究する。また、公表会等の機会を生かし、その研究成果を県内に広める。
  - ・「岐阜県版『CAN-DOリスト形式の目標』」を小中高等学校の学びが接続したものに改良し、各校種で身に付けさせたい英語の力を明確にし、観点別評価に即したパフォーマンステストを行うなど、4技能5領域の総合的な育成を図る。
  - ・中学生の表現力を高めるために作成した岐阜県版表現集「ミナモの夢ノート」を活用した実践例を、学校訪問等を通して県内に広めていく。

#### ○小学校の新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合

##### 【目標及び数値指標】

- ・別紙 目標管理書のとおり

**【R2現状】**・R3年度新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合…14.4%

**【方 策】**・R3年度教員採用試験では、加点制を導入し、「小学校教諭」受験者のうち、中学校教諭「英語」の普通免許状（取得見込を含む）を有する者を加点対象とし、一定の英語力を有する者の人材確保に努めている。

・さらに小学校の新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合を高めていくために、高校生、大学生を対象とした教職説明会において、グローバル化が急速に進展する中で、外国語のコミュニケーション能力の向上を図るため外国語教育に重点を置いている現状を伝え、在学中に資格を取得するよう啓発する。

(3) 研修の体系と内容の具体

**研 修 名：** 指導と評価の一体化に向けた講演会  
**研修対象者：** 小学校教員、中・高等学校 英語教員（各希望者）  
**会 場：** 総合教育センター、各勤務校（オンライン形式で実施）  
**研 修 目 的：** 小中高の継続した学びの実現に向けた「CAN-DOリスト形式の目標」設定の方法及びそれを有効に活用した観点別評価に基づく指導と評価の一体化の在り方の周知  
**内 容：** 講義、ワークショップ  
**受講予定者：** 80名（×1回）  
**研修の評価方法：** 参加者によるアンケート  
**外部専門機関との関わり：** 専門家等を招聘

**研 修 名：** 授業改善講座・教科指導基礎力向上講座  
**研修対象者：** 高等学校 英語教員  
**会 場：** 総合教育センター、授業校  
**研 修 目 的：** 発信型技能の強化を意図した言語活動と評価方法に焦点を当てた、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
**内 容：** 講義、授業研究、高等学校の英語教育推進リーダー等による研究授業  
**受講予定者：** 30名程度（×5回）  
**研修の評価方法：** 参加者によるアンケート  
**外部専門機関との関わり：** 大学教授等を招聘  
**英語教育推進リーダーの活用法：** 授業者として活用

**研 修 名：** 中学校英語指導力向上講座  
**研修対象者：** 中学校・義務教育学校・高等学校 英語教員（小学校教員を含む）  
**会 場：** 総合教育センター・授業校  
**研 修 目 的：** 小学校英語の教科化及び新学習指導要領に基づいた授業改善への対応  
**内 容：** 文部科学省教科調査官による新学習指導要領を踏まえた指導改善や評価についての講義・演習  
 中学校の英語教育推進リーダー等による実践発表又は模擬授業・公開授業  
**受講予定者：** 50名程度（×3回）  
**研修の評価方法：** 参加者によるアンケート  
**外部専門機関との関わり：** 大学教授・文部科学省教科調査官を招聘  
**英語教育推進リーダーの活用法：** 研修講師・授業者として活用

**研 修 名：** 小学校英語指導力向上講座  
**研修対象者：** 小学校教員（中学校・義務教育学校・高等学校 英語教員を含む）  
 特に、小学校の中核教員・英語専科加配教員の受講を奨励する。

会 場 :	総合教育センター・授業校
研 修 目 的 :	小学校英語の教科化への対応
内 容 :	大学教授による検定教科書を活用した指導方法や評価方法についての講義・演習 小学校の英語教育推進リーダーによる実践発表または模擬授業・公開授業
受講予定者 :	50 名程度 (× 3 回)
研修の評価方法 :	参加者によるアンケート
外部専門機関との関わり :	大学教授・文部科学省教科調査官を招聘
英語教育推進リーダーの活用法 :	研修講師・授業者として活用
研 修 名 :	外国語指導助手 (A L T) の指導力等向上研修
研修対象者 :	小・中・高等学校の外国語指導助手 (A L T) 及び日本人英語教員 (J T E)
会 場 :	総合教育センター
研 修 目 的 :	外国語指導助手の指導力向上と外国語教育に係る研究協議
内 容 :	児童生徒の英語力を育成する指導法や Team Teaching の在り方について 学習指導要領の全面实施に向けた指導の在り方について A L T のサービス・規律等の理解について
受講予定者 :	A L T 小・中・義務教育学校 : 37 名、高等学校 : 55 名 J T E 小・中・義務教育学校 : 37 名、高等学校 : 55 名
研修の評価方法 :	参加者によるアンケート
外部専門機関との関わり :	自治体国際化協会 (C L A I R) に講師派遣を依頼予定
研 修 名 :	英語教育推進事業
研修対象者 :	小・中・義務教育学校の推進校における教員、高校教員 (希望者)
会 場 :	各推進校
研 修 目 的 :	各推進校で設定した研究主題の達成
内 容 :	指導改善及び評価の在り方
受講予定者 :	各地区の研究主任・英語教員 (小学校教員を含む) 、高校教員 (希望者)
研修の評価方法 :	参加者によるアンケート
外部専門機関との関わり :	大学教授等
英語教育推進リーダーの活用法 :	推進校の英語教員に含まれる場合、次年度の研修講師・実践報告者として活用
研 修 名 :	小学校教員みんなで Classroom English 講座
研修対象者 :	小学校教員 (英語の免許を有しない者から専科教員までを含む) 特に、小学校の中核教員・英語専科教員の受講を奨励する。
会 場 :	各教育事務所 (県内 6 か所)
研 修 目 的 :	小学校教員の英語力の向上 新規採用者に占める一定の英語力を有する教員の割合の向上
内 容 :	外国人講師による授業に必要な英語の指導 英語らしい発音や基本的な英語表現を身に付けるための演習 小学校の英語教育推進リーダーによるマイクロティーチング
受講予定者 :	180 名程度 (× 3 回)
研修の評価方法 :	参加者によるアンケート
外部専門機関との関わり :	大学教授等
英語教育推進リーダーの活用法 :	研修講師として活用
研 修 名 :	英語教育海外派遣研修 (独立行政法人教職員支援機構主催) < R 3 は中止 >
研修対象者 :	高・特の英語教員 1 名
会 場 :	英国または米国の大学に 2 か月

研修目的:	英語圏の大学研修に教員を派遣し、教員の英語力と指導力の向上を図る。 英語教員の次世代リーダーの育成
内 容:	英語教育に関する指導法等の実践的な研究。 大学等での専門的な授業、活動への参加。
受講予定者:	高・特の英語教員 1 名
研修の評価方法:	参加者の研修報告、英語 4 技能の外部検定試験、研修成果の還元度アンケート。
外部専門機関との関わり:	独立行政法人教職員支援機構、英または米の大学等、外部検定試験実施業者。
英語教育推進リーダーの活用法:	研修対象者に含まれる場合、次年度の研修講師・実践報告者として活用
研 修 名:	国外大学プログラム（岐阜県グローバル化対応教員育成事業）＜R 3 は中止＞
研修対象者:	小中高特の教員計 8 名
会 場:	オーストラリアの大学に 1 カ月
研修目的:	英語圏の大学研修に教員を派遣し、教員の英語力と指導力の向上を図る。 英語教員の次世代リーダーの育成
内 容:	ホームステイしながら大学等で E S L 語学研修プログラムを受講、また、英語教授法を学ぶ。
受講予定者:	小・中・義・高・特の教員計 8 名
研修の評価方法:	参加者の研修報告、英語 4 技能の外部検定試験、研修成果の還元度アンケート。
外部専門機関との関わり:	岐阜大学教育学部教授等の外部有識者、企画運営業務委託業者、オーストラリアの大学等、外部検定試験実施業者。
英語教育推進リーダーの活用法:	研修対象者に含まれる場合、次年度の研修講師・実践報告者として活用

